

I 日 時 平成23年4月6日(火) 18時から20時40分

II 場 所 会議室16(市役所第二庁舎9階)

III 出席幹事 7人 全員

弓場代表幹事、金井、高木、渡辺、安藤、中村、水野

V 会議内容

□ キャラクターデザイン第一次審査会

幹事会の前に、「キャラクターデザイン第一次審査会」を行いました。

出席者 幹事7名 (弓場、金井、高木、渡辺、安藤、中村、水野)

特別審査員 長野美術専門学校 学校長 小林勝彦 様

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 開会        | 渡辺幹事             |
| 2 代表幹事あいさつ  | 弓場代表幹事           |
| 3 特別審査員紹介   | 長野美術専門学校 小林勝彦学校長 |
| 4 審査方法説明    | 事務局 審査要領により確認    |
| 5 候補作品の決定   | 投票結果             |
| 6 特別審査員にお礼  | 弓場代表幹事           |
| 7 今後のスケジュール | 事務局              |
| 8 閉会        | 渡辺幹事             |

[審査会概要]

キャラクターデザインを募集した結果、市内小学校(9歳)をはじめ6名11作品の応募があった。選考については、長野美術専門学校小林学校長が特別審査員として加わり、選考方法等の確認し審査を行った。

まず、幹事の皆さんから一番良いと思う作品2票、その次に良いと思う作品に1票の付箋を貼り、続いて小林特別審査員から6枚の付箋(作品に何枚貼るかは自由)を貼り投票しました。

審査の結果同数票の作品があり、幹事の皆さんによる協議の結果「4作品」について会員皆さんから投票いただく事としました。

[今後のスケジュール]

- ・最終選考はP会議全員により、Eメール・はがきで事務局宛に投票とする。
- ・投票期間は平成23年4月22日(金)まで
- ・4/26 第13回幹事会において投票結果をもとに最終決定する
- ・最優秀作品については、総会で表彰する。
- ・決定したキャラクターでは、P会議が発行するニューズレター、リーフレット、名刺や封筒などに幅広く活用する。

「キャラクターデザイン第一次審査会」にひきつづき幹事会を行いました。

□ 第12回 幹事会

協議事項

1 予算流用および品目変更の承認

- ・管理費 II事務局運営費 H23 ボランティア保険加入代金と資料郵送代不足のための流用
  - ・市民の森ながのチーム 森林整備のため予定していたチェーン等を木材引きで使用プラー・ロープの購入に変更するための変更
- それぞれが承認される。

2 パンフレットについて

オフィスエムに「たたき台」を作成し、内容について全員で一覧する。  
○意見等ある幹事は、8日までに事務局に連絡する。

3 平成23年度通常総会について

日時 平成23年6月4日(土)午後2時から4時終了予定

場所 サンパルテ山王 会議室

議事 22年度 活動報告、収支決算  
23年度 事業計画、予算、その他

○ 総会終了後、懇親会(情報交換や交流会など)  
会費等について、会場ホテル担当者と相談し次回幹事会にて詳細を決定し、会員に通知する。

4 中間監査の内容の見直しについて

12月の中間監査についての内容の確認について、事務局より説明する。

この対応策について検討した。

詳細はVII 主な意見・質疑等参照

5 P会議全体の22年度活動報告書と23年度行動計画・目標・予算について

事務局より全体活動について概略を事務局より説明する。

6 その他について

3月11日東日本大震災について、本会でも出来ることがあるか意見を出し合った。  
引き続き幹事会で継続的に検討していく。

詳細はVII 主な意見・質疑等参照

《報告事項》

- プロジェクトチーム活動報告  
(トレイ・レジ使用削減、市民の森づくり)  
活動記録票により報告

VI 今後の日程等

1 キャラクターデザイン会員投票

(ホームページ掲載し会員の投票期限4月22日)

2 第13回幹事会

- (1) 日時・場所：4月26日(火)18:00～ 会議室6(市役所第二庁舎4階)
- (2) 内容：予算査定、23年度総会、行動計画、予算など

○今後の予定

- 3 4月8日(金) キャラクターデザイン会員投票開始(予定)
- 4 4月18日(月) H22活動報告書・H23活動計画・予算書提出期限
- 5 4月22日(金) キャラクターデザイン会員投票期限
- 6 4月26日 第13回幹事会 予算査定など(予備日4月27日)
- 7 5月末ころ 第14回幹事会 総会資料確認・予算案決定など
- 8 6月1～3日 会計・事業監査
- 9 平成23年度総会(23年6月4日土曜日)

## VII 主な意見・質疑等

### □ キャラクターデザイン第一次審査会

・最優秀賞と優秀賞はこちらに著作権があると示しているが、他の作品については言及していない。誰もが見られるホームページに掲載する際、作品の著作権はどうなるのか。

→会員にパスワードを入れて見てもらうのはどうか。

→そうすると、見られる人と見られない人が出てきてしまう。

→3名を選出する予定だったが、今回4名が選ばれたので、その方にホームページ掲載を了承してもらう。

・作品⑦について

→カエルという生き物を使ったことでアピール力が出てくる。頭にひょろっと付いているのが、特徴があって面白い。

→お腹に抱えている長野市が地球儀に見えるので、お腹に直接、丸をなくして長野市を書いてもいいかもしれない。

→思いつきやすい感じなので、類似しているものが無いか、調査したほうがいい。

・作品⑥について

→真ん中の3つの印が怒った顔に見えて怖い。

→上の“P”の形が“パートナーシップ会議”というオリジナリティーを表現していて良い。キャラクターというのは、ただ見た感じがいいというだけではなく、アイデンティティーを表現した方がいいのではないか。

・小林特別審査員からの意見

→「親しみやすさ」というと明るい表情だったり、表情豊かということを想起しがちだが、意外と表情が無いほうが、後々親しみやすさが沸いてくる。キャラクターというのは名前が不可欠であるし、“P会議”という世界観作りも重要なので、①はよく表現している。黒い輪郭線の中に色を塗るといのは、ありがちで幼く見える。

・作品⑤について

→長靴にPの文字を入れてもいいのではないか。葉っぱのところに、市民・事業者・行政と書いてもいい。

・いつでもカラーとは限らない。モノクロにも対応できなければいけない。

・一人の人から複数出品がある場合は一作品だけを候補に残す。

○協議により「4作品」について、ホームページに掲載し会員より投票することとした。4月22日を投票期限として、その結果をもって幹事会最終決定する。

### — 今後のスケジュールの確認 —

4月8日頃 選出作品①②⑤⑦をHPにアップ→小林特別審査員、各幹事のコメントを付けて、メルマガ、チームリーダー経由で会員に投票呼びかけ

22日 投票締め切り

26日 幹事会で受賞作品を決定→結果をHPで公表

5月連休前 受賞者に決定のお知らせ、表彰式のすりあわせ、

6月4日 総会で表彰式

・以前、電気自動車のシンボルマークを作成したときは、特許事務所で類似したものがないか調べてもらった。

○今回も最優秀作品が決まったら、チェックしてもらう必要がある。

## □ 第12回 幹事会

### 1 予算流用および品目変更の承認

○異議なし、承認される。

### 2 パンフレットについて

・「活動を紹介します」の四角の枠の中には写真が入るんですか？

→そうです。プロジェクトチーム（自然系）の活動の様子を入れます。

・7ページと最後のところ、両方とも事務局になっていて無駄ではないか。

→7ページは文字ではなくて、絵や写真にしたほうがいいのではないか。

・「参加して活動してみませんか」のような言葉がないので、あったほうがいいのでは。

○幹事の方は8日までに気づいたところを事務局に連絡し、次回の幹事会で再検討する。

### 3 平成23年度通常総会について

・返信用ハガキに会費について記載したほうがいいのでは。

・懇親会の会費等について

→2~3000円位が適当か。お酒を飲めば4~5000円。

→頂いた会費の中でやるのか、P会議の予算を使って不足分を出すのか。

→会場費だけはP会議から出してもいい。

・時間帯が2~5時になっているが。

→3時間は長い。2時間あれば足りるのでは。

→2~4時としておいて、終わってから懇親会を行う。

○サンパルテと打合せして、資料により26日に検討する。

### ・会則21条の変更について

→(2)(3)は幹事会とは別の方が召集を代表幹事に請求する。(1)については、代表幹事というのはもともと幹事会所属なのだから、「請求する」という(1)の項目は不要なのではないか。

→そうすると22条も変更しなければいけない。このままでいいのではないか。

→そもそも、臨時総会をすることはそんなにないので、大きく変えるときに、ついでに変えるくらいでいいのではないか。

→文言としてわかりにくい。

○株式会社の場合は、取締役会は意思決定機関で、代表取締役は執行機関なので、取締役会が決定して請求するというのは違和感がない。そういうことが前提でP会議の会則が決められているのであれば違和感はない。

### ・3章会員について

→信大が学部で加わったときに、法人格ではないから議決権はどうなるのかという話があった。賛助会員の制度だとか、法人の会費を分けるだとか、検討したほうがいいのではないか。賛助会員は議決権なしだとか。

→事業者は何か利益があるのでは、と入ってくるが、実際そういうことはなさそうだから、今度は個人でいいということになる。団体だとあまりメリットがない。

→法人会費は5万円位？

→事業としてやるならいいけれども、会費として出すのはちょっと・・・。

→法人としては事業に繋げたいから。

→ただ会費として集めるのではなく、「具体的にこれをやりたいから寄付してください」としたほうがいい。イベントの時に広告を出したりだとか、何かメリットがないと難しい。

○法人会費や、賛助会員のたたき台を代表幹事が作って事務局に提出する。

・34条プロジェクトチームについて

- 人数の規定がないが、何人からでもチームとしてよいのか。一人で、個人的にこういうことがやりたいから、と活動費を請求してもよいのか。そういう場合が出てくるので、何らかの規定が必要なのではないか。
- 人数のところでチェックをかけなくても、予算のところでチェックが入る。活動を承認するときにもチェックするから、いいのでは。
- 単独というのはチームとして成り立たないのではないか。
- でも、会則で「2人以上」とか「3人以上」とかにすると、名前だけ貸してね、ということになりかねない。
- 発足時点で少人数の場合は、もっと人数を増やすよう、幹事会が働きかけるべき。
- 会則に設けなくても、事業報告を受ける中で存続理由が成り立っているかどうか、指導をしっかりとしていけばよい。事業報告と予算執行報告を報告してもらう。

4 中間監査の内容の見直しについて

- ・会費徴収について
  - プロジェクトチームに所属していない人はどうするのか。
  - 郵便振替用紙を送っている。
  - 総会の案内を出すときに、未納者にはメモを入れたらどうか。
  - 総会のときに直接事務局に渡せるようにしたらどうか。
  - 会費の納入について整理し、リーダーに報告し納入を促す。
- ・旅費の燃料費について
  - レンタカーは燃料実費なので精算する。
  - 旅費の自家用車についての項目以降は26日に議論する。

5 P会議全体の22年度活動報告書と23年度行動計画・目標・予算について

- 全体の22年度活動計画と23年度行動計画・目標・予算についてまとめたものです。
- 資料について、幹事から特に意見はないが、気づいたことは事務局まで連絡をする。

6 その他

- ・今回の震災に対してP会議でできることはないか。
  - メルマガで、P会議としてではなく個人で、という呼びかけをした。しかし、P会議で何らかのかたちでできればと考えている。
  - この間物資を運んでいったが、避難所からすると、どんな人が来ているのかわからなかったようなので、P会議の上着を着ていった。
  - 大きな団体に寄付するのもいいけれど配るのが遅くて、実際まだ届いていない。
  - 個人的には具体的な要望が来ていたので、物資を持っていった。
  - 4月5日に長野市も対策本部を立ち上げたが、受け入れ側がまだ体制が整っていないため、手探りの状態。消防も3月11日に行ったが、以前お付き合いのあった所に行っている。長野市は「何処」へ行け、というような指示はなかった。いまだ難しい状況。
  - P会議として、継続的に検討していく。